

平成29年度米子市水道事業会計予算について

編成方針

平成29年度予算は、平成19年度に策定した10年間（平成20年度～平成29年度）の水道事業基本計画をもとにし、更に検証を加えたものに基づいて作成した。

平成28年度で給水収益の減少傾向は一定の底打ちを見せた感はあるが、給水人口の減少傾向を踏まえ、給水収益は前年度と比較して増額としたものの、引き続き経常的経費を精査抑制して調製した。

一方投資的経費については、福市ポンプ場から取水する原水の安全対策のため、戸上水源地において紫外線照射水処理施設設置事業を実施する。また、管路の耐震化及び長寿命化対策として、老朽管更新事業、国道431号線の水管橋更新事業を緊急度及び重要度等を総合評価した結果を踏まえて年次的に進める。

本予算は、より一層安全で良質な水の安定供給を図ること及び災害に強い水道事業の構築を主な目的として編成した。

予算の概要

1 予算規模

1) 収益的収支

収益的収入総額は3,597,655千円で、給水収益の増加を見込み、前年度に比較して48,575千円（1.4%）の増加とした。

収益的支出総額は、3,183,703千円で、減価償却費、消費税及び地方消費税ほかの増加により、前年度に比較して88,910千円（2.9%）の増加とした。

この結果、純利益は413,952千円とした。

2) 資本的収支

資本的収入総額は、585,620千円で、主に企業債、補助金の減少により、前年度に比較して2,837,488千円（82.9%）の減少とした。

資本的支出総額は、1,681,418千円で、主に建設改良費の減少により、前年度に比較して3,050,422千円（64.5%）の減少とした。

2 主 な 事 業

- 1) 米子市、境港市及び日吉津村における配水管布設替等の改良事業（3,880 m）並びに下水道工事及び土木改良工事に伴う配水管の布設替（6,140 m）を実施する。
- 2) 耐震対策を含めた老朽管更新事業（2,020 m）を実施する。
- 3) 国道 431 号線の水管橋更新事業を引き続き実施する。（1か所）
- 4) 原水の安全対策のため紫外線照射水処理施設設置事業（戸上水源地内）を実施する。